



## インフォマティカを「リーダー」に位置づける

アナリスト企業のガートナー社は、同社初となるメタデータ管理ソリューションの評価において、インフォマティカを「実行能力」、「ビジョンの完全性」ともに最高レベルを有するリーダーと位置づけました。

インフォマティカのメタデータ管理ソリューションは、メタデータの標準化と共有に取り組む企業を支援し、あらゆる組織の情報資産価値を最大限に引き出します。本レポートを読むことで、インフォマティカを含む主要なメタデータ管理ソリューションベンダーと各社の長所と短所を理解できます。

インフォマティカの **Metadata Manager** は、企業の幅広い取り組みに不可欠な、次のようなメタデータ管理のコア機能を提供します。

- データガバナンス：エンドツーエンドのデータリネージ、コラボレーティブなビジネスグロッサリ、企業情報カタログを提供して、すべてのデータ資産を管理します。
- BI およびアナリティクス：ほぼあらゆるタイプのデータを統合し、BI およびアナリティクスアプリケーションで使えるように準備、提供し、最適な意思決定に活かします。
- マスターデータ管理（MDM）：顧客、社員、サプライヤー、その他マスターデータの360度のビューを、ビッグデータに基づくインサイトでエンリッチ化します。

インフォマティカのエグゼクティブ・バイス・プレジデント兼 CPO（最高製品責任者）のアミット・ワリア（Amit Walia）は、次のように述べています。「当社のお客様の多くが証明しているように、メタデータ管理は効果的なデータ管理とガバナンスの基盤になるものです」

「当社は、一連の包括的なメタデータ管理ソリューションを通して、メタデータ管理に関するお客様の差し迫ったニーズへ全力で対応すると同時に、将来的なエンタープライズアーキテクチャとデータ管理についても、お客様が思い描く目標の実現を支援します。今回、ガートナー社初となるメタデータ管理ソリューションのマジック・クアドラントでリーダーに位置づけられたことは、当社がメタデータ管理のあらゆる場面を完全にサポートし、次世代のメタデータ管理ソリューションの定義と提供において絶え間ない革新を進めてきたことが認められた結果であると捉えています」

詳細はこちら - [ガートナー社の 2016 年メタデータ管理ソリューションのマジック・クアドラント全文（英語）](#) [はこちら](#)

本図は、ガートナー社の発行物の一部であり、評価するには発行物全体をご覧ください。ガートナー社のレポートは、[こちら](#)をご覧ください。

ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーの利用者に助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

<sup>1</sup> ガートナー社、メタデータ管理ソリューションのマジック・クアドラント、Guido De Simoni 氏、Roxane Edjlali 氏共著、2016 年 8 月 15 日。

メタデータ管理ソリューションのマジック・クアドラント

Figure 1. Magic Quadrant for Metadata Management Solutions

